

コンクリートの乾燥収縮ひずみ試験

《コンクリートの長さ変化測定 JIS A 1129-2》

土木・建築分野における仕様書に、
コンクリートの**乾燥収縮ひずみ率**
が規定され、**コンクリートの**
品質管理の一つとして明確化
されました。

《土木分野》

・コンクリート標準示方書(施工編)⇒1000 μ を超えないこと

《建築分野》

- ・住宅品質確保法⇒瑕疵担保責任の明確化
- ・日本建築学会収縮ひび割れ制御指針⇒標準: 800×10^{-6} 以下
高級: 650×10^{-6} 以下
特級: 500×10^{-6} 以下
- ・日本建築学会JASS 5-2009⇒計画供用期間の級
長期・超長期: 800×10^{-6} 以下

環境防災

乾燥収縮ひずみ試験

開始しました!!



恒温恒湿室



コンタクトゲージによる測定状況

乾燥収縮ひずみ試験の流れ

10×10×40cm
角柱供試体
の作製
(3供試体)

脱型
(24h)

水中養生
(20±2°C)
搬入・輸送

基長測定
(材齢7日目)

乾燥開始
(温度20±2°C、
相対湿度60±5%)
乾燥収縮ひずみ
測定材齢
(1w、2w、4w、8w、
13w、26w)

最終乾燥収縮
ひずみ率の算定

■注意事項

- ・測定材齢は、1w、2w、4w、8w、13w、26wを基本とします。その他の測定材齢につきましては、別途とさせていただきます。
- ・供試体の作製および弊社試験室までの搬入・輸送は、お客様にてお願い致します。
- ・角柱供試体用型枠の貸出は可能ですが、数量に限りがあります。お早めの申しつけお願い致します。
- ・試験室の空き状況によっては、対応しかねる場合もございますので、事前連絡頂けますようお願い致します。